



令和5年4月28日(金) 草津市立渋川小学校 学校だより 第2号

違いを認め合い、安心して過ごせるように



新学年が始まり3週間が過ぎました。多くの子どもは、新しいクラスの仲間や先生に慣れてきた頃だと思えます。でも、皆がそういうわけではありません。すぐに新しい環境に慣れてのびのびと過ごしている人もいれば、慣れるのに時間がかかる人もいます。「みんな同じではないことを理解したうえで、仲よくする」ことが大切だと思います。

「一人ひとり違う」と、言われてみれば当たり前のことですが、ともすれば“多数派”に尺度を合わせられて、そこから外れてしまったり追いつけなかったりすると、心配になったり、焦ったり、いらだったりしたことは誰にでもあることでしょう。学校は集団で学習する場面が多い所ですから、そのような気持ちを抱くことが多くなりがちです。

「一人ひとり違う」ことを、余裕のなさや忙しさなどのためについつい忘れがちになるので、私は、子どもも大人（特に、教師や親）も、あえて意識する必要があると考えています。「(あなたと私は一見同じように見えるけれども、) 考えていることも全然違うし、怒りはじめる“沸点”も違うし、ひとりでいても平気な人もいれば常に誰かといっしょにいないと不安になる人もいる」等々…

また、足の不自由な人が車いすや杖(つえ)を利用するなど、体の不自由な人はさまざまな機器や道具を利用するなどして、それぞれが生活をしています。このような“違いが見えやすい”人との違いを、まるで劣っている点を見つけたかのように意地悪なことを言ったり、いじめたりすることはあってはならないことです。この点は、しっかり理解させ指導しなくてはなりません。しかし、一方で、子どもは失敗を重ねながら成長します。失敗から反省して学んでいく、ということが何度もあることでしょう。思い返してみれば、私自身も子どもの頃に、ずいぶんひどいことを言ったりしたりしてきました…。

渋川小学校では、子どもや職員合わせて約600人もの方が生活しています。困りごとやトラブルが何も起こらないのに越したことはありませんが、何も起こらないはずがありません。でも、何か困ったことが起きたときに、周りの大人がどうとらえて、どう反応するか、どう対応するかが大切です。時には、私たちの至らぬ点もあろうかと思いますが、職員と保護者の皆さまが、子どもの成長のために同じ方向を向いて、良い方向に導けるように努力を重ねたいと思います。

まもなく、子どもが楽しみにしているゴールデンウィークです。交通事故には特に気をつけて、充実した連休を過ごしていただき、5月の登校を迎えていただきますようお願いいたします。

(校長 : 井上 忠之)



日	月	火	水	木	金	土
	1 希望制個別懇談 全校4校時 3年 聴力検査	2 希望制個別懇談 全校4校時 2年 聴力検査	3 憲法記念日	4 みどりの日	5 こどもの日	6
7	8 1年 聴力検査	9 5年 聴力検査	10 避難訓練⑤	11 3年・5-1・5-2 内科検診	12 全校集会② フレンズデー 6年 内科検診	13
14	15 委員会活動⑥	16 4年 内科検診	17 学習参観③ 学級懇談会④	18 1年・5-3・あおぞ ら 内科検診	19	20
21	22 クラブ活動⑥	23 2年 内科検診	24 1年 耳鼻科検診	25	26 1年生をむかえ る会③	27
28	29	30	31			

4月の子どもたちの様子から

今月は、高学年の子どもたちの様子を2つお伝えします。1年生が入学して、“先輩”の子どもたちが優しく迎え入れています。

後ろを気づかいながら



入学式の後片付けをがんばった6年生にお礼の言葉とともに、「明日からは、みなさんといっしょに1年生も分団登校をします。時々、後ろを歩く小さな子どもたちの様子を気にしながら、ゆっくりめで歩いてくれるとうれしいです。」と話をしました。それから3週間。今も、その言葉を守って、安全に気をつけて連れてきてくれています。

そうじでも お手本に



1年生の子どもにとっては、見るもの、やること、全て新鮮。そうじにも一生懸命に取り組んでいます。でも、やり方や進め方がわからないところもあるので、初めは混乱しがちに。そんな中、6年生の子どもたちが助けたり教えたりしています。今では、ずいぶんスムーズにそうじができるようになりました。